

平成 24 年 2 月 5 日（日） 11 時 30 分～12 時 30 分

場所：キャンパスプラザ 5F 第 1 講義室

議 事 内 容：

1) 総会議案書の確認

- ・ 予算案で専門医部会と検査士部会の費用が同一であるが、会員の人数比率から考えると必ずしも同額でなくともよいのではないか
- ・ 専門医部会の活動内容が未定なので、平成 25 年度から実際の活動予定があったときに予算付けする

2) 会計収支の概要

- ・ 支出が平成 19 年から平成 23 年にかけて、516,200 ⇒ 601,500 ⇒ 512,700 ⇒ 636,600 ⇒ 826,500 と増加傾向にあり、要因として会場費の増加 73,000 ⇒ 69,000 ⇒ 78,000 ⇒ 108,000 ⇒ 248,000 が考えられる
- ・ 賄い費の廃止を考えたらいかがか
  - 必要なら年会費を値上げして、賄い費は従来通り
- ・ キャンパスプラザは 3 か月前予約しかできなくなったので、生活習慣病従事者研修会を府立医大か京大で行えばどうか
  - 府立医大で開催したときに、大雪のために極端に参加者が少ない時があったので、やはり交通の便がいいところが理想的である
  - 京都大学医学部人間健康科学科との共催企画として、キャンパスプラザを 6 か月前から予約できるよう交渉してみる
- ・ 会費値上げ、会場費の問題は継続審議として、当面はキャンパスプラザの 6 か月前予約を試みることで様子を見る

3) 今年度活動予定の追加報告

- ・ 第 28 回学術集会のランチョンセミナー共催企業は決定
  - 5 月の連休明け頃から演題募集開始するので、多数の演題応募をいただき、学術集会を盛り上げていただきたい
- ・ 第 14 回教育委員会は平成 24 年 12 月 16 日開催予定

4) その他

- ・細胞検査士会より
  - ① 2月25・26日の2回、日本大学医学部附属板橋病院にて甲状腺・唾液腺ワークショップ参加者を募集中  
内容：坂本穆彦先生(甲状腺ベセスダ)、廣川満良先生(唾液腺)の講演、口腔領域も含めた専門病院の症例を多数そろえた鏡検実習
  - ②今年度の細胞学会秋期大会で『細胞検査士若手CTポスターセッション“わからん会”』の企画に各支部から演者1名を推薦  
若手CTの方々が気軽に発表できるコーナーを企画  
対象：CT取得後5年以内の若手CT  
内容：ジャンルは問わず。判定の難しかった症例や組織結果がはっきりしないため、指導を受けたい症例など
  
- ・ 今回の生活習慣病予防細胞診従事者研修会のプログラムの中に、婦人科細胞診、呼吸器細胞診が表題としてのテーマに含まれなかったことに触れて、前支部長からそれらの何れかは含める必要が京都府の補助金を得ている関係に於いてあったことが指摘され、その理由についての歴史的経緯が述べられた。これを受けて今後の生活習慣病予防細胞診従事者研修会のプログラムの作成とその表記には本件を留意して行くことが確認された。また同時にホームページへの京都府支部プログラムの情報発信の重要性が現支部長から指摘された。